

平成26年度行政評価 外部評価実施報告書

平成26年10月
稲沢市市長公室企画政策課

I 外部評価の概要

1 実施目的

行政評価を実施するにあたり、行政内部の自己評価に加え、第三者による評価・検証の機会を確保することにより、**評価の客観性の向上**及び**透明性の確保**を図り、事業のあり方の検証を含めた**行政運営の効率化、事業の見える化**及び**職員の意識改革**を目的として、外部評価を実施します。

2 基本方針

- (1) 行政改革推進委員会は、市が実施した内部評価（前年度の事務事業の事後評価）の結果について、外部の視点から評価・検証し、事務事業の改善、評価指標のあり方、今後の方向性等に関する提言を行います。
- (2) 外部評価の結果を踏まえて、市（事業担当課）は当該事業に対する今後の方針を検討し、予算編成や各種計画等への反映に努めます。また、いただいた意見等については、今後の事務事業の遂行にあたって活用していくものとします。

II 外部評価の実施概要

1 実施日時

- (1) 平成26年8月21日（木）午後1時30分から午後4時40分まで
- (2) 平成26年8月22日（金）午後1時30分から午後4時40分まで
- (3) 平成26年10月10日（金）午後1時30分から午後2時30分まで【再実施】

2 会場

市役所（3階） 議員総会室

3 評価対象事業

事務事業評価の対象11事業（次ページ参照）の中から、行政改革推進委員会委員の意向を踏まえ、6事業を選定しました。

【選定結果】

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① いなざわ植木まつり事業 | （経済環境部農務課） |
| ② スポーツ大会運営委託事業 | （教育委員会事務局スポーツ課） |
| ③ 交通安全対策事業 | （総務部総務課） |
| ④ いなッピー活動事業 | （経済環境部商工観光課） |
| ⑤ 文化財保護事業 | （教育委員会事務局生涯学習課） |
| ⑥ 介護予防事業 | （福祉保健部高齢介護課） |

平成 26 年度事務事業評価 対象事業一覧表

分野	関連施策	事務事業名	担当部課
福祉・健康 (安心して元気に暮らせるまち)	健康	母子健康診査事業	福祉保健部 保健センター
	高齢者福祉	介護予防事業	福祉保健部 高齢介護課
生活・環境 (環境にやさしく安全なまち)	防災	自主防災会活動資機材交付事業	総務部 危機管理課
	防犯・交通安全	交通安全対策事業	総務部 総務課
		交通安全施設整備事業	建設部 土木課
都市基盤・産業 (活力ある未来をひらくまち)	農業	いなざわ植木まつり事業	経済環境部 農務課
	観光	いなッピー活動事業	経済環境部 商工観光課
教育・文化 (郷土を愛し豊かな心を育むまち)	文化	文化財保護事業	教育委員会事務局 生涯学習課
		常設展開催事業	教育委員会事務局 美術館
	スポーツ	スポーツ大会運営委託事業	教育委員会事務局 スポーツ課
経営戦略	組織改革戦略	職員研修事業	市長公室 人事課

4 実施内容

(1) 外部評価の進め方

区分	内容	時間 (分)
①事業担当課による 事務事業の説明	事業担当課が事務事業評価シート等に基づき、事務事業の概要、課題、実施状況、自らが行った評価（内部評価）の結果について説明します。	10
②質疑応答・議論	評価員が必要に応じて事業担当課に補足説明を求め、評価する上で必要と思われる事柄について質問します。また、これらを踏まえて評価員同士で議論します。	25
③各評価員自己判断	各評価員が「外部評価結果記入シート」へ評価結果（A～D）及びその理由、改善すべき点等を記入します。	5
④最終評価・講評	各評価員一斉に評価結果（A～D）の札を上げ、その結果、最多となった評価結果を委員会の最終評価とします。また、評価員全員から評価結果の理由について、簡潔にコメントしてもらいます。	5
【評価区分】 「A」…計画どおり事業を進めることが適当である 「B」…事業の進め方などに改善が必要である 「C」…事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である 「D」…事業の廃止・休止の検討が必要である		

(2) 実施スケジュール

① 平成26年8月21日（木）

次第	時刻		時間 (分)
	開始	終了	
開始式（あいさつ、会議の進め方、資料の確認など）	13：30	13：50	20
外部評価① いなざわ植木まつり（経済環境部農務課）	13：50	14：35	45
休憩	14：35	14：45	10
外部評価② スポーツ大会運営委託事業 （教育委員会事務局スポーツ課）	14：45	15：30	45
休憩	15：30	15：40	10

外部評価③ 交通安全対策事業（総務部総務課）	15：40	16：25	45
終了式（あいさつなど）	16：25	16：40	15

② 平成26年8月22日（金）

次第	時刻		時間 (分)
	開始	終了	
開始式（あいさつ、会議の進め方、資料の確認など）	13：30	13：50	20
外部評価① いなっピー活動事業（経済環境部商工観光課）	13：50	14：35	45
休憩	14：35	14：45	10
外部評価② 文化財保護事業（教育委員会事務局生涯学習課）	14：45	15：30	45
休憩	15：30	15：40	10
外部評価③ 介護予防事業（福祉保健部高齢介護課）	15：40	16：25	45
終了式（あいさつなど）	16：25	16：40	15

③ 平成26年10月10日（金）【再実施】

次第	時刻		時間 (分)
	開始	終了	
開始式（あいさつなど）	13：30	13：50	10
外部評価 交通安全対策事業（総務部総務課） ※平成26年8月21日に実施した外部評価において、評価結果の決定に至らなかったため、再度実施したもの。	13：50	14：35	45
終了式（あいさつなど）	14：35	14：50	15

(3) 評価体制

行政改革推進委員会委員を2班体制に編成し、対象事業別（1班当たり3事業）に外部評価を実施しました。

① 平成26年8月21日（木）及び10月10日（金）評価員

氏名	組織等	備考
くりばやしよしひこ 栗林芳彦	名古屋文理大学情報文化学部 PR学科長・教授	会長（班長）
むらかみひろみ 村上浩美	愛知文教女子短期大学幼児教育学科 准教授	
いとうけんじ 伊藤賢治	一般社団法人稲沢青年会議所前理事長	
いぬいまさお 戌亥昌郎	三菱電機労働組合稲沢支部執行委員長	
さだゆきかおり 定行加保里	公募	

② 平成26年8月22日（金）評価員

氏名	組織等	備考
はっとりまさみ 服部正見	稲沢商工会議所理事兼事務局長	副会長（班長）
はぎはらあきひさ 萩原聡央	名古屋経済大学法学部准教授	
たけだまさこ 武田勝子	稲沢市連合婦人会会計	
すみだまさゆき 住田正幸	平和支所地区まちづくり推進協議会会長	
なかにしひろし 中西弘	公募	

(4) その他

評価当日の限られた時間を有効に活用するため、各委員に対して評価資料（事務事業評価シート及び説明補足資料）を事前送付しました。

また、併せて「外部評価事前質問シート」を送付し、評価の進め方、事務事業の内容や配布資料等について、事前に確認しておきたい事項や評価当日に質問したい事項等を各委員から受け付け、事業担当課による説明や質疑に対する回答の中に反映させるよう努めました。

5 評価の視点等について

行政改革推進委員会は、評価資料（事務事業評価シート及び説明補足資料）や事業担当課による説明、質疑応答・議論等を踏まえ、各事務事業について次の視点で評価及び提言を行います。

- (1) 事務事業の妥当性、有効性、効率性について
- (2) 事務事業の目的設定と目的に対する成果の整合性について
- (3) 指標設定の仕方について
- (4) 内部評価（前年度の事務事業の事後評価）に対する事業担当課の考え方について
- (5) 事務事業の必要性等の観点からの分析による改善方法の提案及び今後の方向性に関する提言

Ⅲ 外部評価の結果

今回実施した6事業の評価結果は次のとおりです。

事務事業名	いなざわ植木まつり事業		
担当	経済環境部農務課		
担当課評価 (内部評価)	B	事業の進め方などに改善が必要である	
外部評価結果			
委員会評価	B	事業の進め方などに改善が必要である	
評価内訳	集計結果		
	委員コメント		
	B	3人	<p>本事業の趣旨には納得できるため、今後も実施してほしいと思うが、「来場者アンケートの実施」や「PR戦略の再考」など、実施面での更なる努力をお願いしたい。</p> <p>歴史がある事業であり、来場者数も毎年増加傾向にあるため、今後も事業を進めることが適当であると思う。ただし、来場者のニーズを把握して、考慮することも必要であると思う。</p> <p>また、売上金のみこだわりのではなく、文化的な提案もできれば、稲沢の良いPRになると思う。</p>
			<p>植木まつり事業の内容としては、このままで良いと思う。むしろ、来年度から運営方式が「実行委員会方式」へシフトすることが心配である（2年後には、植木まつりがなくなってしまうのではないかと心配している。）。</p> <p>「後継者が育つ農業」という観点では、植木まつり以外の取組みが必要である。</p>
C	1人	<p>後向きな評価としての「C評価」ではない。本事業をより良いものにするため、大きな改革に取り組んでほしい。</p>	
【評価区分】			
「A」・・・計画どおり事業を進めることが適当である			
「B」・・・事業の進め方などに改善が必要である			
「C」・・・事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である			
「D」・・・事業の廃止・休止の検討が必要である			

事務事業名	スポーツ大会運営委託事業	
担当	教育委員会事務局スポーツ課	
担当課評価 (内部評価)	B	事業の進め方などに改善が必要である
外部評価結果		
委員会評価	B	事業の進め方などに改善が必要である
評価内訳	集計結果	
	B	3人
	<p>本事業の対象者として、競技者だけでなく、その周辺や市民全体を巻き込んだイベントとすることによって、より多くの市民の参加意欲を高めるべきではないかと思う。</p> <p>「指導者の育成」という観点では、地域で活動している各スポーツ団体のネットワークを構築し、情報交換を行い、各々抱えている問題を協力して解決し、合同の練習や研修、指導者を共有する機会を増やすと良いと思う。</p> <p>また、今後は市民が参加しやすい難易度の低いスポーツ（種目）の導入も考えていくと良い。</p> <p>業者へ大会運営を委託する際に、広報や運営に係る諸々を協議できる環境が大切であると感じた。</p>	
C	1人	<p>「一人でも多くの市民が楽しくスポーツができるよう普及拡大に努める」という施策目標を達成するにあたって、その方法が大会方式であることに疑問を感じる。一般の方が参加しやすい事業を広げるほうが良いのではないか。</p>
<p>【評価区分】</p> <p>「A」・・・計画どおり事業を進めることが適当である</p> <p>「B」・・・事業の進め方などに改善が必要である</p> <p>「C」・・・事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である</p> <p>「D」・・・事業の廃止・休止の検討が必要である</p>		

事務事業名	交通安全対策事業		
担当	総務部総務課		
担当課評価 (内部評価)	B	事業の進め方などに改善が必要である	
外部評価結果			
委員会評価	B	事業の進め方などに改善が必要である	
評価内訳	集計結果	委員コメント	
	B	3人	
			<p>細かな点に改善の余地はあるものの、本事業そのものの意義は誰もが認めるところであり、更なる実施効果の向上を目標にして、事業を推進してほしい。</p> <p>また、常に改善の視点を持ち、交通事情の変化に対応した事業内容にしてほしい。例えば、自転車の走行マナーの悪化が目立つようになっているため、自転車走行に係る啓発活動を行うなど、時代の流れをきちんと汲んだ上で、活動を展開していく必要があると考える。</p> <p>市民目線だからこそ、前例踏襲となっている点を指摘できると思う。市民の視点や評価を活動の中に上手く取り込んでいける仕組みを構築し、計画的に実施していくことが望ましい。</p>
			<p>交通安全教室等の様々な活動がマンネリ化しないよう、市役所側の考えのみで企画を進めるのではなく、その活動に参加した方々、例えば、小学校や保育園の先生方の意見や反省点等も取り入れながら、事業を進めていくと良い。</p> <p>活動毎の反省をしっかりと行い、それを踏まえて次年度の改善に繋げてほしい。</p>
<p>本事業そのものは大変重要なものであると思うが、時代に合った事業内容になっているか、取組内容は適切かどうかを毎年検討していく必要があると考える。</p> <p>そうした中で、例えば、婦人交通指導員の「婦人」という表記や、制服着用の考え方等については、明らかに見直しが必要であると考えます。</p> <p>また、地域が必要としている交通指導員の人数についても、毎年検討していく必要があるのではないかと。</p>			

【評価区分】

「A」・・・計画どおり事業を進めることが適当である

「B」・・・事業の進め方などに改善が必要である

「C」・・・事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である

「D」・・・事業の廃止・休止の検討が必要である

事務事業名	いなっピー活動事業		
担当	経済環境部商工観光課		
担当課評価 (内部評価)	B	事業の進め方などに改善が必要である	
外部評価結果			
委員会評価	B	事業の進め方などに改善が必要である	
評価内訳	集計結果	委員コメント	
	B	5人	稲沢市のPR大使として、さらなる活躍を期待する。併せて、いなっピーの着ぐるみに入るアクターとしての職員の後継問題も検討してほしい(技術の伝承)。予算の増額にも期待する。
			市民や民間事業者との協働を、より推進できるようにしてほしい。 いなっピーの観光協会への移管も実現してほしい。
			いなっピーグッズの充実や販売実績の向上に向けた取組みを充実させてほしい。
			もう少しグッズの種類を増やして、いなっピーの飴等が常時購入できるようになると良い。 また、一般の方々がもっと「いなっピー(着ぐるみ、デザイン等)」を利用するように図ってけると良い。
もっと知恵を出して、市のPRに努めてほしい。お金も使い、日本一を目指してほしい。そして、もっと商品を作り、売っていく。他市との「知恵くらべ」である(民間への委託もあり)。			
		稲沢市のPR活動や経済効果を図るものとして、引き続き本事業を推進してほしい。 なお、市民や民間事業所等を積極的に活用する必要があると思うため、事業の運用方法を検討してほしい。	
【評価区分】			
「A」・・・計画どおり事業を進めることが適当である			
「B」・・・事業の進め方などに改善が必要である			
「C」・・・事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である			
「D」・・・事業の廃止・休止の検討が必要である			

事務事業名	文化財保護事業	
担当	教育委員会事務局生涯学習課	
担当課評価 (内部評価)	A	計画どおり事業を進めることが適当である
外部評価結果		
委員会評価	B	事業の進め方などに改善が必要である
評価内訳	集計結果	
	A	1人
	<p>市内の文化財は、稲沢市の顔として有効に活用してほしい。期待値は高い。市への来訪者や市民に知らせる努力もしてほしい。</p> <p>また、文化財の市→県→国への指定区分の格上げと価値を上げる努力をお願いしたい(専門職の登用・活用)。</p>	
B	4人	<p>施策目標から見ると、本事業は必要であると考え、事業の目的の1つである「市民に対するPR」が不十分であると思うので、改善が必要であると考え。</p> <p>本事業に関心がない一般市民の方に、どうしたら関心を持ってもらえるのか。文化財のPRの仕方や公開回数の増加、文化財めぐり等を考えてほしい。</p> <p>本事業は地道な事業であると思うが、教育の観点からすると、小・中学校へもっと働きかけてほしい。子どもが日常的に関心を持つことが、一番重要であると考え。</p> <p>また、海外からのお客様を案内する場所がほしい。PRもお願いしたい。尾張国分寺跡周辺に整備する構想がある「(仮称)尾張国歴史館」にも期待している。</p> <p>稲沢市は歴史的に見ても、お寺等の歴史的文化財が多数存在しており、お寺めぐり等へのニーズも高いため、市が持つ文化財を積極的にPRし、観光客等の誘致を図るべきである。</p>
<p>【評価区分】</p> <p>「A」・・・計画どおり事業を進めることが適当である</p> <p>「B」・・・事業の進め方などに改善が必要である</p> <p>「C」・・・事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である</p> <p>「D」・・・事業の廃止・休止の検討が必要である</p>		

事務事業名	介護予防事業		
担当	福祉保健部高齢介護課		
担当課評価 (内部評価)	B	事業の進め方などに改善が必要である	
外部評価結果			
委員会評価	B	事業の進め方などに改善が必要である	
評価内訳	集計結果		
	B	5人	介護予防は必要な事業である。介護予防教室への更なる新規参加者を募る努力をお願いする。より多くの参加機会を設けてほしい(参加しなくてもできない方や会場に来られない方へのケア、細かい配慮)。
			事業内容について、これまでの取組みは少なくとも維持するとともに、可能であれば、内容の充実を図ってほしいと考える(会場や参加スペースの問題もあることは理解している。) 2次予防事業への新規参加者が増えるような仕組みを構築してほしいと思う。
			介護予防事業への不参加者を把握し、参加してもらえるような対応の仕方を考え、徹底してほしい。
			高齢化時代に住みよいまちとは、福祉の充実が一番であると思う。「転ばぬ先の杖」ではないが、これからも市民のために大いに活動してもらいたいと思う。 健康にいられるためのサポートは、仲間が多いことも重要である。積極的な働きかけを頼みたい。
本事業の目的は妥当である。介護予防教室への新規参加者の増加を図るよう努力願いたい。 また、介護保険法の改正を踏まえて、事業の活性化が必要であると考えます。			
【評価区分】			
「A」・・・計画どおり事業を進めることが適当である			
「B」・・・事業の進め方などに改善が必要である			
「C」・・・事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である			
「D」・・・事業の廃止・休止の検討が必要である			

IV 今後の展開

行政改革推進委員会による外部評価の結果及び各委員からの意見等については、事業担当課において今後の方針を検討し、新年度予算や各種計画へ反映させるよう努めるとともに、事務事業の遂行にあたって活用していきます。

なお、各事務事業への反映状況等については、事業担当課に調査の上、その結果を行政改革推進委員会に報告するとともに、市ホームページ等で公表していきます。